

県総会と交流会

備前支部 徳田和夫

梅雨の雨模様の中、今年も県内の守る会の仲間が県北のゆのぐうの地に集い1泊2日の交流会と県総会が行われました。

昨年の約束通り皆の元気な顔が集まりました。残念ながら諸事情により来られない方もおられましたが、顔なじみが多く、気を使わず話ができるようになったと思います。初めての参加の方も何人かいらして交流会の輪が大きくなっていると感じました。

勉強会では、年金の運用等の話も有意義でした。(私には少しむずかしい話でした。)
「5年後の私」という考え方も現実には日々を大切に生きていかないといかんと思ひ、また東京オリンピックまでは現役でいたい!と思いました。

いろいろな思いの中で一夜が明けて、恒例のボランティア活動をしました。朝の清掃作業の出発を他の泊り客の方が見られ、「どんな団体で、これから何をされるのですか?」と尋ねられ、森永ひ素ミルク中毒の被害者の会で社会貢献の一つとして、草抜きや、ゴミ拾いをします。とお答えしたところ「素晴らしい活動をされていますね。頑張ってください。」と励まされ、朝一気持ちよくボランティアをしました。

県総会では冒頭、今日までに亡くなられた友に黙とうを捧げ、森脇委員長のあいさつ、そして来賓の方によるごあいさつをいただき、粛々と進行し無事に終了しました。今年の総会では、私と堀さんで議長をさせていただきましたが、守る会の仲間の前ということもあり、そんなに緊張することもなくできました。

60歳を越えた今、「守る会活動に少しでも役に立ちたい」と思っています。みなさん守る会活動を頑張るって輪を広げましょう。

「体の丈夫を願え、体を作れ、何事も体が基なり」私の信条です。

